



平成28年度 横浜市立宮谷小学校 学校だより 1月号

みやがや

＜学校教育目標＞

響き合う豊かな学びの中で自分を見つめ互いに思いやる子を育てます

【知】 学び合う楽しさを知り、問題解決に向け主体的に取り組む子を育てます。【学び合い】

【徳】 社会や学校のきまりを守り、やさしく思いやりのある子を育てます。【思い合い】

【体】 お互いの生命と体を大切に、生涯を通してよりよく健康な生活ができる子を育てます。【気づき合い】

【公・開】さまざまな人々と豊かなかかわり合いを大切にしながら、わたしたちのまちに誇りをもって生活する子を育てます。

【かかわり合い】

「生きているって……」

校長 奈良輪 孝雄

新しい年を迎えました。今年が皆様にとってすばらしい年になりますように願っております。

私の手帳は、4月始まりです。学校は4月が年度替わりですが、やはり、新年は気が引き締まります。昨年度を表す漢字は、「金」でした。オリンピックの金メダルラッシュ、イチロー選手の金字塔などを思い浮かべる方が多かったようです。私は、公私ともに「命」の大切さを感じる1年でした。

さて、今年は、どんな年になるのでしょうか。混沌とした、先行きが見えにくい社会です。だからこそ、未来を切り拓く子どもたちには、生きるすばらしさを感じて欲しいのです。輝く未来を信じて欲しいのです。右の詩は、北鎌倉に美術館がある葉祥明さんの詩です。絵も美しく引き込まれますが、言葉も純粹で、心にストレートに響いてきます。家族や友達などみんながいるからうれしいという気持ち。生きているって、すごいという思い。空に浮かぶ白い雲を見て、この世は素晴らしいと感じる感情。そのような感性を私ももち続けたいと思います。普段、当たり前である何気なく見過ごしてきていることが、実は本当の美しさやすばらしさであることに気づかされる詩です。これと同じように、私は多くのことを子どもたちから教わります。秋には、学校の周囲に銀杏の落ち葉がたくさん落ちます。近隣の方が掃除をいつもしてくださっていますので、銀杏の落ち葉をゴミであると思って見ていましたが、道路一面に広がった落葉を見てある子が、「きれい！」と言ったのです。その子の言葉を聞き、改めて落ち葉を見ると、歩道一面に黄金色の絨毯が敷き詰められていました。美しかったです。この子の感性は、葉祥明さんにつながります。

「みんながいるからうれしい」「生きているって、すごい」と感じる感性豊かな子どもたちのための学校にしていきたいと思います。そのような学校には、決していじめはありません。あるのは思いやりです。友達も自分も大切にし、未来を信じているので、勉強もしっかりします。

学校は、地域の皆様の方とご家庭の方無くては成り立ちません。昨年同様、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

今年を表す漢字一文字は、「幸」になるために努力をしていきたいと思っています。

「生きているって……」

葉 祥明

空を見上げると

白い雲が浮かんでいる

お日様が輝いている

この世は素晴らしい！

生きているって不思議！

泣いても、笑っても

歌っても、倒れても

何が起ころうと、起こるまいと

全て、うれしいこと

ネコがいる、犬がいる

小鳥がいる、虫がいる

大好きな家族がいる

仲のよい友達がいる

みんながいるからうれしい

それもこれも

僕がこうして生きているから

生きているって、すごい

「子どもとよみたい 輝け！いのちの詩」

小学館発行

